

保護者の皆様へ

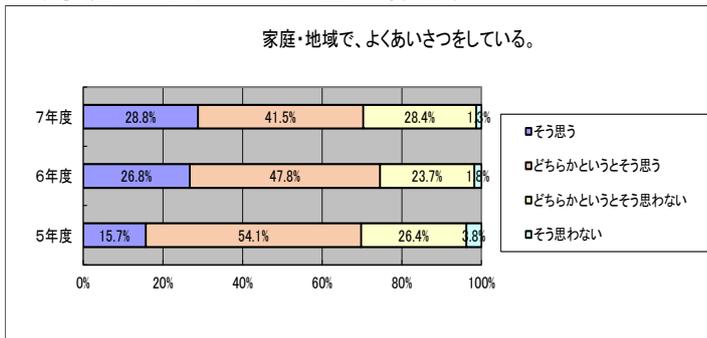
佐屋西小学校長 古江 妙子

### 佐屋西小学校の教育活動等についてのアンケート集計結果について

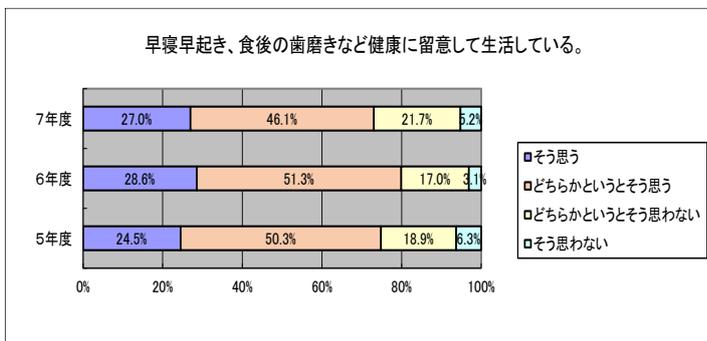
日ごろは、本校の教育活動に対しまして深いご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

12月にご協力いただきました「佐屋西小学校の教育活動等についてのアンケート」の集計結果をお知らせさせていただきます。保護者の皆様の総意として受け止め、来年度の教育活動推進の指針としていく所存です。今後も変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

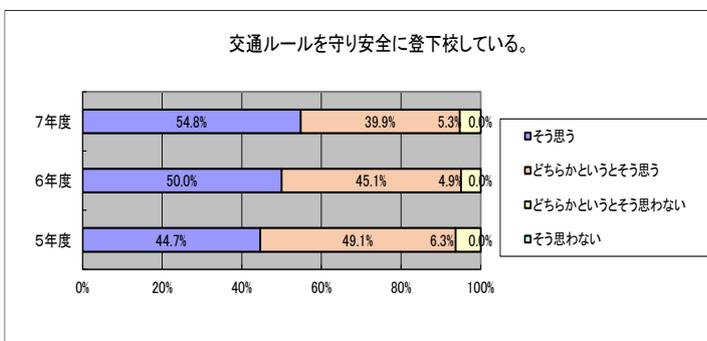
#### 〈家庭・地域での児童の様子〉



今年度も、全校朝礼での校長訓話や児童会による「あいさつ運動」を通して声かけを行ってまいりましたが、昨年度と比べて評価はやや低下しています。今後は、教員が日常の中で手本を示すとともに、児童会による取組内容や声かけの工夫を進め、挨拶の大切さが児童一人一人に意識されるようにしていきます。元気な挨拶が自然に交わされる学校づくりを目指し、取組の改善と充実を図っていきたく考えています。



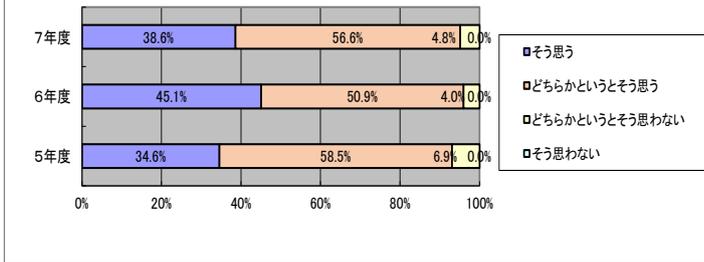
規則正しい生活習慣を身に付け、健康に留意して生活している児童は約7割で、昨年度よりやや低下しました。歯科保健指導は2年目となり、歯磨きへの意識は引き続き高まりつつありますが、生活リズムの定着については課題が見られます。その背景として、SNSやゲーム等の生活環境の影響も考えられます。今後は、保健指導や保健だより等を通して、体調管理の大切さや望ましい生活習慣について継続して指導し、改善を図っていきます。



多くの児童が交通ルールを意識して行動しています。通学班での登下校については、必要に応じて指導や助言、注意喚起を行ってまいりました。今後は、児童一人一人が自ら安全を守る意識をもち行動できるよう、全体指導や各学級、通学班での指導を継続していきます。あわせて、家庭と連携し、交通ルールを守り命を大切にする意識の定着を図ります。

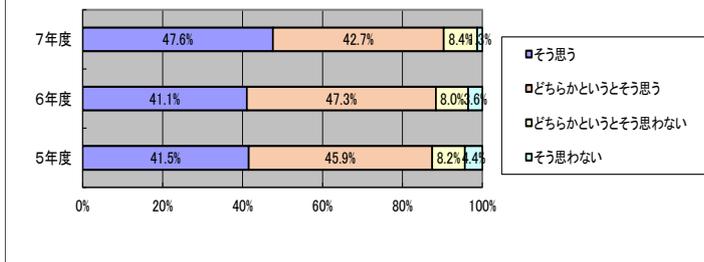
P T A 学年委員の皆様やスクールガードの方々をはじめ、地域の皆様のご協力に感謝いたします。

休日・下校後は安全に注意して遊んでいる。



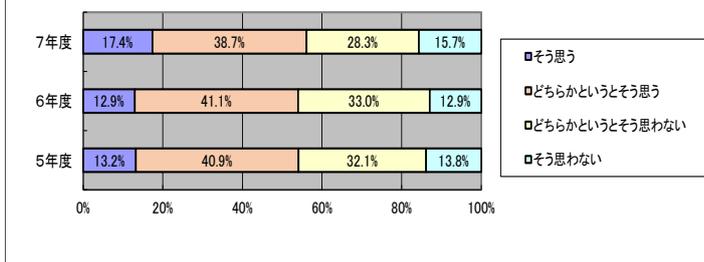
「休日・下校後は安全に注意して遊んでいるか」については、昨年度よりやや評価が低下したものの、9割を超える高い評価を維持しています。多くの児童が、休日や下校後も安全に注意して過ごしている様子が見られます。一方で、下校後のSNSやゲームの利用、公園等での物のやり取りをめぐるトラブルも一部見られました。今後も、学校として下校後の過ごし方について指導を継続するとともに、家庭や地域と連携しながら、子どもたちの安全を見守っていきたいと考えています。

学校が楽しいと言っている。



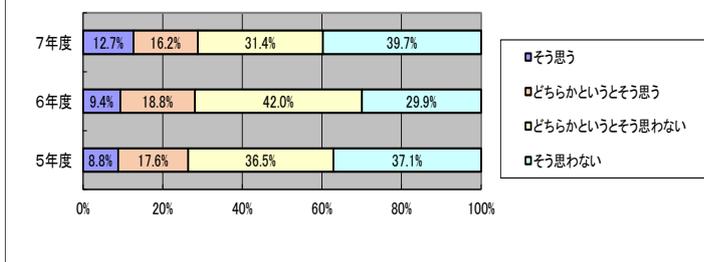
「学校が楽しいと言っている」児童は、この3年間で増加しています。教師や友達と会話を楽しみながら、子どもたちが安心してのびのびと過ごす姿が多く見られ、学校生活全体に明るさと活気が感じられます。今後も、「そう思う」と答える児童がさらに増えるよう、一人一人に寄り添った教育活動を大切にするとともに、家庭との情報共有を継続していきたいと考えています。

自主的に家庭学習に取り組んでいる。

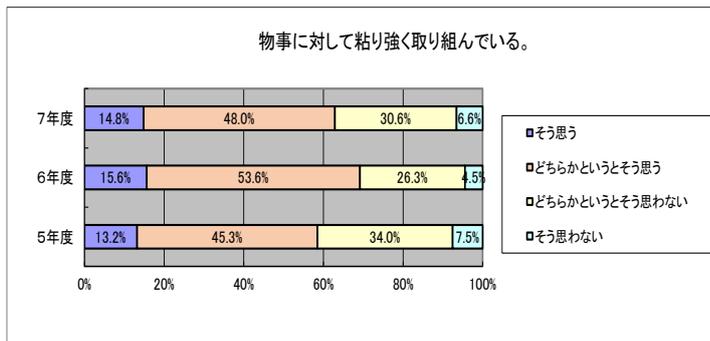


児童が自主的に家庭学習に取り組んでいると考えているご家庭は、今年度も6割を下回っていますが、評価は少しずつ伸びてきています。今後は、学習の見通しや振り返りを大切にした家庭学習を進め、児童が学習の効果や必要性を実感できるようにしていきます。引き続き、児童の興味・関心に応じた課題の工夫を行うとともに、家庭と連携しながら、自ら学ぶ姿勢の定着を図っていきます。

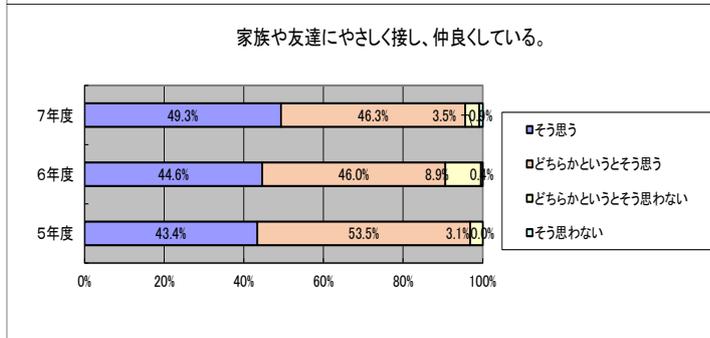
進んで読書に親しんでいる。



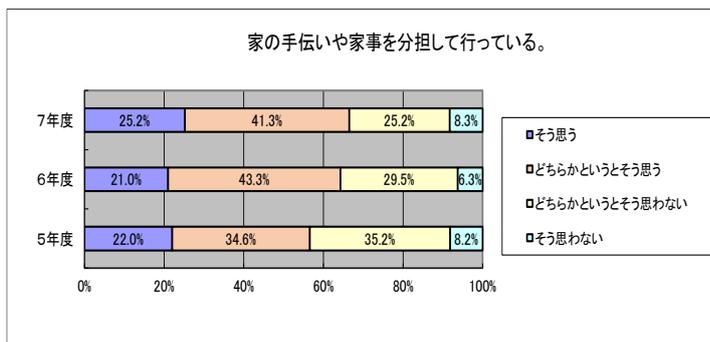
「進んで読書に親しんでいるか」については、依然として割合は高くありませんが、少しずつ伸びてきています。引き続き、ボランティアの方々による読み聞かせに加え、教師や図書委員会による「おすすめの本」の紹介などを通して、読書の楽しさを伝えていきます。また、各学級での読書の時間の確保や、今後は朝読書の時間を設けることも検討しながら、本に親しむ環境づくりをさらに進めていきたいと考えています。



「物事に対して粘り強く取り組んでいるか」については、昨年度より取り組んでいる児童の割合が低下しました。これまでの取組を生かし、さらに成就感や達成感を味わえる活動を計画的に設定するとともに、うまくいかない場面でも自分で考え工夫し再挑戦する姿を認め、諦めずに粘り強く取り組む児童を育てる指導を行っていきます。

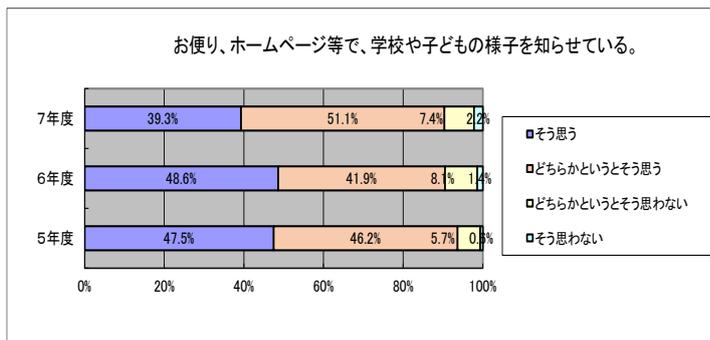


「家族や友達にやさしく接し、仲良くしているか」については、肯定的な回答が増え、否定的な回答は昨年度の半数程度となりました。これは、ご家庭での温かい関わりや、学年を超えた活動、児童の気持ちに寄り添う指導を通して、人にやさしく接しようとする意識が高まってきた成果であると考えられます。引き続き、児童一人一人の気持ちを大切にしながら、思いやりの心を育てる指導を継続していきます。

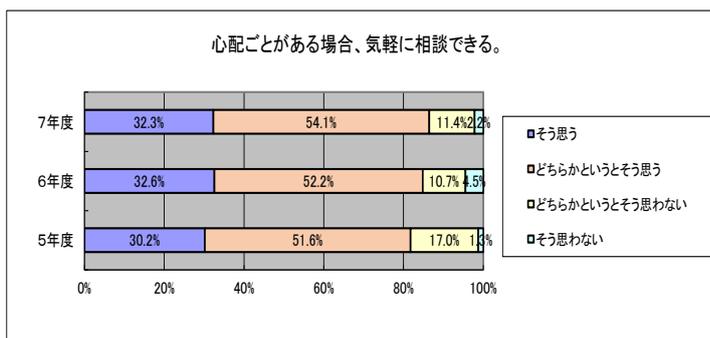


家の手伝いや家事を分担して行っている児童の割合は、ここ3年間増加傾向にあり、今年度も半数以上を占めました。学校においても、決められた係活動や当番活動に加え、学級や学校のために進んで行動し、楽しみながら役割を果たそうとする児童の姿が多く見られます。今後も、ご家庭において、手伝いや家事分担に取り組む児童の姿を認め、成長につなげていただければと考えます。

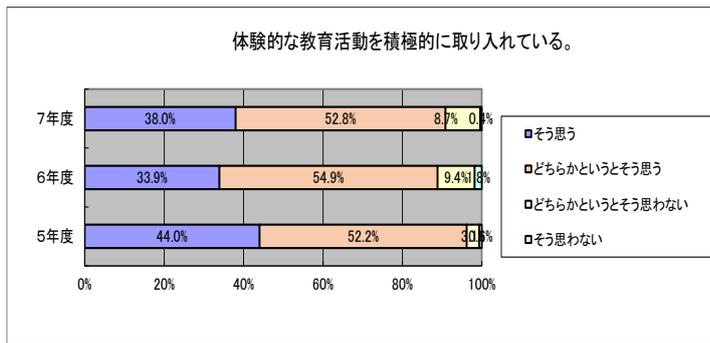
### 〈学校の取り組み〉



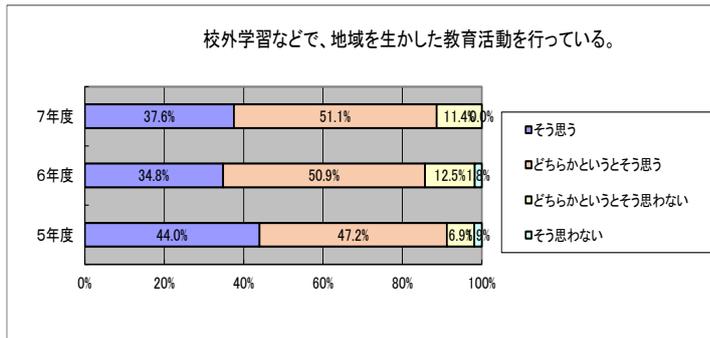
「学校や子どもの様子を知らせているか」について、この3年間9割を超えて「そう思う・どちらかというと思う」という回答をいただいております。ただ学年によっては、ホームページの更新が少ないのご意見をいただいております。今後は、各学年バランスよく、計画的に学校でのお子様の様子をお知らせできるように工夫していきたいと考えています。



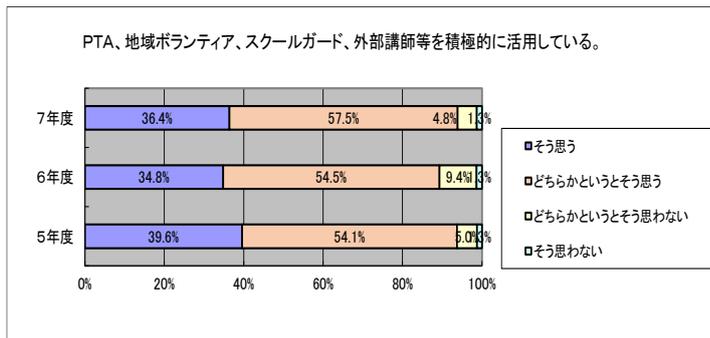
「心配ごとがある場合、気軽に相談できるか」については、昨年度より肯定的な回答が高くなりました。担任だけでなく教職員がチームとして児童の様子を共有し、早期に指導・助言を行うとともに、保護者とこまめに連絡を取り連携してきたことにより、信頼関係が深まってきたためと考えられます。今後は、保護者の声を丁寧に受け止め、担任以外の教職員やスクールカウンセラー、外部機関と連携しながら、児童の成長を支えていきます。



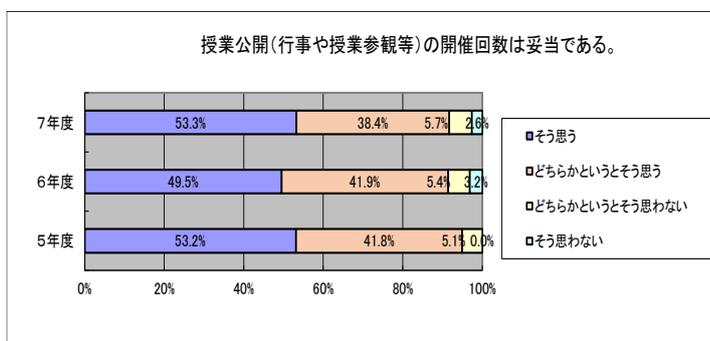
今年度は、昨年度より積極的に団体・講師を招いた出前授業等を取り入れたことで、評価が高くなりました。体験的な教育活動の大切さを改めて確認する機会となり、外部講師の話の聞いたり、一緒に活動したりする中で、子どもたちが生き生きと取り組む姿が多く見られました。今後も、学校や各学年の行事を工夫し、心に残る体験活動を取り入れた授業の充実を図っていきたいと考えます。



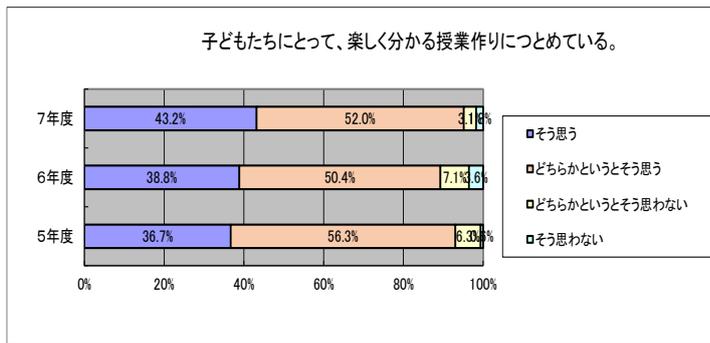
今年度は、「町たんけん」や「消防署見学」を徒歩で行うとともに、「給食センター見学」「八穂クリーンセンター見学」「トヨタ産業記念館見学」などはバスを利用して実施し、総合的な学習の時間・生活科・社会科に効果的な校外学習を進めてきました。バスの利用が難しくなっていますが、今後も学年のバランスを考慮しながら、徒歩やバスを適切に組み合わせ、地域の施設や産業について計画的に学ぶ活動を検討していきたいと考えています。



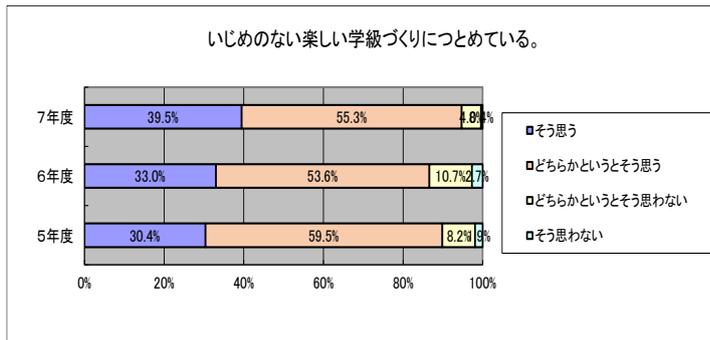
P T Aや地域の皆様には、日頃より多大なご協力をいただき、心より感謝しております。読み聞かせや毎日の登下校の見守り、除草活動、花壇整備など、さまざまな場面で学校を支えていただいています。今年度は、P T Aの皆様のお力添えにより、外部講師を招いた「いのちの授業」を実施することができました。今後も、P T Aや地域の皆様と連携しながら、学校教育の充実にも努めていきたいと考えます。



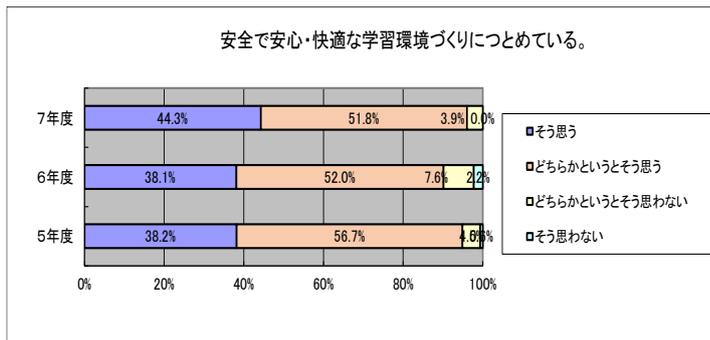
授業公開の開催回数については、多くの保護者の皆様に妥当であると受け止めていただいております。一部に回数が多いと感じるご意見もありましたが、学校としては、保護者の皆様に学校や授業の様子を知っていただく機会を大切にしたいと考え、来年度も今年度とほぼ同程度の回数で行事や授業参観を実施する予定です。なお、授業参観の内容につきましては、より充実したものとなるよう、内容や実施方法等を工夫しながら計画していきます。



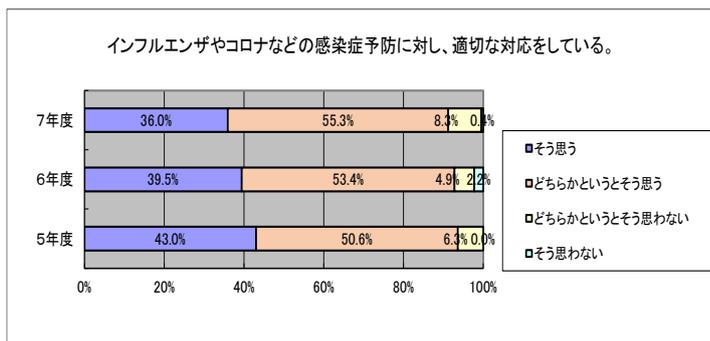
子どもたちにとって楽しく分かる授業を進めていくことは、とても大切であると考えています。今年度は、肯定的な評価が高くなり、日々の授業改善や教員同士の学び合いの成果が表れてきていると捉えています。引き続き、全ての児童にとって楽しく分かる授業となるよう、教員研修を計画し、研鑽を積むとともに、対話を重視した協同的な学習を進め、児童が自分で考え、友達と意見を交流しながら学びを深める授業づくりに取り組んでいきます。



「いじめのない楽しい学級づくりにつとめているか」については、肯定的な回答が高くなりました。教職員が連携して児童の様子を日常的に見守り、早い段階で丁寧に関わってきた成果であると考えられます。今後も、安心して相談できる関係づくりを大切にし、アンケートや相談活動を通して、いじめの未然防止と早期対応に努めていきます。



「安全で安心・快適な学習環境づくりにつとめているか」については、児童の安全を最優先に考えた取組を進めています。校内や校庭の定期的な点検を行い、危険箇所の早期発見と速やかな対応に努めるとともに、児童自身の安全意識を高める指導も行っています。今後も、関係機関と連携しながら、教職員と児童が協力して、安心して過ごせる学習環境と環境美化の充実を図っていきます。



「感染症予防に対し、適切な対応をしているか」については、肯定的な回答が、やや減少傾向にあります。今年度もインフルエンザが流行したことを踏まえ、引き続き、手洗いや換気の大切さを改めて指導するとともに、児童自身が健康や安全について考え、進んで行動できるよう意識づけを大切にしていきたいと考えています。

「学校行事を振り返って」「お子様のことに関する悩み」の項目では、さまざまなご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

今年度は、外部委託によるプール指導について多くのご意見をいただきました。本校では、プール施設の老朽化により使用が難しくなったことから、お子様により安全で充実した水泳指導を行うことを目的に、外部委託を開始しました。この趣旨をご理解いただいた肯定的なご意見がある一方、11月から12月の実施時期について、お子様の健康を心配される声もいただいております。市内の複数校が同一施設を利用し、市が定めた日程で実施しているため、時期の変更は難しい状況ですが、いただいたご意見は市にお伝えしてまいります。

また、今年度は、修学旅行・野外活動・社会見学・芸術鑑賞会に加え、出前授業や校外学習を実施してきました。実際に話を聞き、体験を通して学ぶこれらの活動は、学習効果が高いと考えています。来年度も、時期や内容、予算等を十分に検討し、効果的な活動を計画し

ていきたいと考えています。

運動会については、表現活動に対する肯定的なご意見をいただく一方、内容の簡素化について物足りなさを感じるという声もありました。限られた時間の中でも、子どもたちが達成感をもてるよう工夫して取り組んでおります。今後も、いただいたご意見を参考に、可能な改善に努めてまいります。

今年度も、保護者の皆様の温かいご理解とご協力により、学校教育を進めることができました。アンケートでいただいたご意見を生かし、令和8年度に向けた準備を進めてまいります。今後とも、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。